

広報

えりも

2013
4月号

№.893



えりもの味で地域おこし

えりも「鍋」自慢大会

鍋料理を通してえりもの食の魅力を再発見し、「えりもの味」を地域おこしにつなげようと、えりも地域力発掘協議会（高橋祐之会長）主催のえりも「鍋」自慢大会が三月二日、福祉センターで開かれました。

六団体が出品し、みどり自治会の「えりも山海つくねちゃん鍋」、柏台自治会の「たらちり鍋」、Y・W産業の「えりももみじ鍋」、入山佐水産の「漁師の三平汁」、小林博子さんグループの「春まち鍋」、まぶりと守人の「えりも短角牛ぶりぷりコラーゲン鍋」といった、えりもの海と山の幸がいっぱい詰まった多種多様な鍋が並び、来場者は汗をかきながらえりもの味を堪能していました。

来場者が印象に残った鍋に投票するコンテストでは、入山佐水産の「漁師の三平汁」が一位に輝きました。

もっとも支持を集めた 入山佐水産の「漁師の三平汁」

新たな子育て支援事業が始まります

えりも町は、子育て世帯の負担軽減と児童福祉の向上を目的に「すこやか赤ちゃん誕生祝金支給事業」と「子育て世帯医療費支援事業」を子育て世帯支援事業として新たに始めます。



すこやか赤ちゃん誕生祝金支給事業

◇対象

今年四月一日以降に、出産によって子の父又は母になつた方で、出産の日にも町に住民登録をしている方を対象とします。

◇支給内容

お子さん一人につき、三万円とします。
一万円を地域商品券で支給し、残りの二万円は地域

商品券か現金での受け取りを選択できます。

◇手続き

出生届（窓口は町民生活課戸籍係）を出したときなどに、同じ課の社会係で手続きが必要です（手続きは出生の日から三か月以内）。

◇手続きに必要なもの

印鑑、預金通帳（現金を選択した場合）

◇問い合わせ先

町民生活課社会係

☎二・四六二一

子育て世帯医療費支援事業

現在、乳幼児から小学生の一部までを対象としている医療費助成事業を中学生までの通院・入院に拡大し、窓口負担分を地域商品券で還元します。

◇対象

0歳から中学生までのお子さんのいる世帯です。

◇助成額

対象世帯のお子さんの医療費支払額が、一か月分

（月の初日から月末まで）で千円以上になつた場合、その医療費に応じて町内の取扱店で買い物ができる地域商品券（五百円券）で還元します。

※平成二十五年四月診療分から対象です。五月から申請受付を行う予定です。四月分の領収書の保管をお願いします。

◇問い合わせ先

保健福祉課医療給付係

☎二・四六二一

ご存知でしたか。
えりも町の保育料は
子育て世帯にやさしい
料金設定となっています。



えりも町の保育料は国基準のおよそ2分の1。

日高管内のほかのまちと比べても、10区分ある保育料の階層区分のうち、7区分で一番安価な料金を設定しています。残り3区分でも管内で二番目に安価な料金です。

さらに、保育料を決める要素の一つである所得税額が、税制改正による年少扶養控除及び特定扶養控除廃止により増額となりましたが、えりも町では税制改正前の所得税を再計算のうえ保育料を算定するとともに、2人目の保育料を半額、3人目は1割負担とし、世帯の負担を軽減させたものとなっています。

子育て世帯医療費支援事業

医療費支払いから地域商品券受け取りまでの流れ

世帯の子どもの医療費支払額が月1,000円以上になった場合 → 地域商品券の支給対象になります。

地域商品券の支給対象世帯から、役場窓口（保健福祉課医療給付係）で申請します。
※領収書、印鑑、保険証等が必要です。

役場窓口で対象世帯に地域商品券を支給します。（原則その日のうちに支給します。）

★地域商品券の支給額計算方法

$$\begin{array}{|c|} \hline 1月分の子どもの \\ 医療費支払額 \\ (保険診療分のみ) \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline 世帯の \\ 負担額 \\ (500円) \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline 地域商品券 \\ 支給対象額 \\ \hline \end{array}$$

※「子どもの医療費支払額」は、その世帯の子ども全員分を合計します。

※「世帯の負担額」は、子どもの人数に関係なく500円です。

※「地域商品券支給対象額」を500で割り返した枚数の地域商品券（500円券）が支給されます。小数点以下は切捨てです。

《医療費支払額ごとの地域商品券支給枚数の例》

医療費支払額	地域商品券支給枚数
0～ 990円	支給対象外です。
1,000～1,490円	500円券×1枚（500円分）
1,500～1,990円	500円券×2枚（1,000円分）
2,000～2,490円	500円券×3枚（1,500円分）
2,500～2,990円	500円券×4枚（2,000円分）

●そのほかの主な子育て支援事業

母子家庭児童福祉手当	町民生活課社会係（☎2-4621）
児童手当	〃
乳幼児医療費・ひとり親等家庭児童医療費助成事業	保健福祉課医療給付係（☎2-4622）
未熟児養育医療費助成事業	〃
歯科健診事業	〃
B C G等予防接種事業（B C G外8種）	保健福祉課保健予防係（☎2-4630）
乳幼児健診事業	〃
パパママ教室開催	〃
私立幼稚園就園奨励費補助金	学校教育課学校管理係（☎2-2525）

道の津波浸水予測を基にした津波ハザードマップを配布します。

昨年六月、北海道が新たに津波浸水予測を発表しました。それを基に作成作業を進めていきました「津波ハザードマップ」が、このほど完成しました。

このハザードマップに掲載した浸水予測は、太平洋沿岸各所で行われた津波堆積物調査を踏まえて津波の最大値を想定したものです。津波は、震源地の位置などでその性質が変わるため、記載されたとおりにならない可能性があります。また、平成十九年度に配布した五百年間隔地震による津波ハザードマップの内容についても、今後、同様に注意が必要です。

今回作成した津波ハザードマップを、避難等を検討する上でご利用いただければと思います。

なお、ハザードマップは、えりも町のホームページ（下段参照）にも掲載しています。



えりも町ホームページ
<http://www.town.erimo.hokkaido.jp>

えりも町 防災情報メール

災害情報、通行止め情報、地震・津波情報などを配信します。



QRコードが利用できない場合は、t-erimo@sg-m.jpへ空メールしてください。

- 迷惑メールの受信拒否設定をしている方は、「sg-m」ドメインからのメールを受信できるように設定してください。
- 情報利用料は無料ですが、通信料は自己負担です。

防災情報メールの機能追加に伴い、試験配信を行います。

現在、「えりも町防災情報メール」は、配信登録をしている方に防災情報や防災行政無線情報を配信しています。四月一日より新しい機能を追加しました。追加する機能は、ドコモのエリアメール、さらにauとソフトバンクの緊急速報メールを一斉配信できるようにしたもので、これにより、より多くの携帯電話をお持ちの方々へ

現在、「えりも町防災情報メール」は、配信登録をしている方に防災情報や防災行政無線情報を配信しています。四月一日より新しい機能を追加しました。追加する機能は、ドコモのエリアメール、さらにauとソフトバンクの緊急速報メールを一斉配信できるようにしたもので、これにより、より多くの携帯電話をお持ちの方々へ

情報配信ができるようになりました。この機能の追加に伴って配信試験を行います。大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

◎ 配信試験日

四月十日（水）
 九時三十分から
 十時までの間に
 二回配信します。

春の火災予防運動が始まります!!

「消すまでは出ない行かない離れない」を全国統一防火標語に掲げ、四月二十日から三十日までの十一日間、春の火災予防運動が実施されます。

冬から春へと季節が移り変わるこの時期は、非常に空気が乾燥し、火災が発生しやすく、大火になりやすい時期でもあります。

この運動の目的は、町民みなさんに火災予防の意識を高めていただくことにより、火災の発生・拡大を未然に防止し、尊い生命と貴重な財産を火災から守ることにあります。

消防えりも支署では、火災予防啓発の一環として、期間中、毎日十二時五分に町内全地区一斉に防災無線のサイレンを吹鳴します。

火災のほとんどは、火を取り扱う人のちょっとした不注意が原因で発生しています。「風の強い時は火入れをしない」、「コンロに火をつけた状態でその場を離れない」など火気管理には十分注意を払い、出火防止に努めるようご協力願います。

● 問い合わせ先

消防えりも支署 ☎ 二・二〇三八



新築・改修工事費の一部を助成します。

昨年に引き続き、住宅の新築や

改修工事を行う方に対して工事費用の一部を助成する「住宅改修工事等助成事業」を四月から始めます。

この事業によって、住環境の整備を促進するとともに、建設産業の振興と雇用の安定を図ることを目的としています。

●対象期間

四月一日から平成二十六年三月三十一日までに竣工できるもの。

ただし、予算の上限に達した段階

で終了となります。

●助成金の額

改修工事等の工事金額の五割を補助します（千円未満切捨て）。

ただし、五十万円を上限とし、五十万円に満たない場合は十五万円とします。

●助成対象となる方

次の条件にすべて当てはまる方が対象となります。

- ・えりも町に住所を有する方
- ・改修工事等を行う住宅の所有者で

あつて、かつ当該住宅に現に居住する方又は居住しようとする方。

・町税を滞納していない方。

●助成対象となる条件

次の条件にすべて当てはまる住宅が対象となります。

- ・併用住宅の場合は、居住部分のみが対象となります。
- ・町内建設業者（町内に本社を有し建設業を営むもの又は建設工事業として行っている個人事業主）が自ら行う改修工事等。
- ・改修工事等に要する費用が百万円以上（消費税込）のもの

◎問い合わせ先

建設水道課建築管財係

☎〇一四六六・二・二二一四

●対象となる工事

新築、増築、改築、修繕及び模様替えなど。建築設備工事も対象。

●対象とならない費用

- ①設計費・敷地整備費・外構工事費（通路、舗装、植栽、庭園、塀、車庫、フェンス、物置等）、床、壁、天井のいずれにも固定されない物品（後付照明器具、据え置きコンロ、ストーブ（FFストーブ含む）、家具など）及びカーテン、ブラインド、置き敷きじゅうたん等の購入又は設置に要した費用。
- ②住宅と当該住宅以外の部分を合わせた改修工事等は、当該住宅以外の部分の工事に要した額。
- ③他の制度・公的資金による補助金及び貸付金。

町職員の人事異動

4月1日付けで、町職員の人事異動がありましたのでお知らせいたします。

■課・係の再編等

◎建設水道課土木第1係を「港湾・河川係」に、さらに土木第2係を「道路係」に変更します。

◎保健福祉課に「保健指導係」を新設します。

◎学校教育課の「経理係」を廃止します。

■町職員人事異動

《総務課》庶務係兼職員厚生係兼行財政改革推進室行革係～脇元優斗▶職員厚生係長～富沢有希子▶財政係長兼行財政改革推進室行革担当～山本奨▶情報管理係長兼行財政改革推進室行革担当～伊吹達也

《企画課》課長～高橋誠也▶振興係長～藤井大吾▶防災係～大石侑▶広報係長～運上英幸▶振興係兼広報係～川村幸哉

《税務課》課長～斉藤昌文▶課税係～横嶋賢二▶納税係～東大輔

《町民生活課》社会係長兼年金係長～脇坂祐輔

《保育所》中央保育所～金子春菜

《保健福祉課》課長兼地域包括支援センター所長兼居宅介護支援事業所所長～福沢昌幸▶保健予防係兼保健指導係兼地域包括支援センター介護支援係～大久保奈々▶保健指導係長～中野知子▶保健指導係兼保健予防係兼地域包括支援センター介護支援係～加藤千景

《産業振興課》課長補佐兼水産係長～上島正人▶水産係～野阪亮太

《建設水道課》港湾・河川係長～宝金友明▶道路係長～富沢誠

《学校教育課》学校教育係長～山本裕文▶学校教育係兼学校管理係～田中克樹

《社会教育課》社会教育係～高橋未希

《国保診療所》総務係長～松浦弘典▶医事係兼総務係～伊藤圭輔▶看護係～盛永千春

■退職者（3月31日付）

小山内幸治（企画課長）、神田修（税務課長）、藤井琢英（企画課振興係長）

3月定例町議会

3月定例町議会が、3月6日に召集され、15日までの10日間にわたって開会されました。

初日は町長と教育長からの執行方針、15日からは条例の制定・改正、新年度予算などが審議されました。

今月号では、執行方針を要約してお知らせします。



快適に暮らせる まちづくりを目指して

行政執行方針

たくましく活力あるまちづくり

◆農林業の振興

昨年のホクレン南北北海道家畜市場では、本町生産の肉牛六百三十一頭が前年比約十四・三割増の二億五千三百二十三万円の販売実績を上げ、一頭当たりの平均価格も二・八割増となりました。

今後も優良繁殖後継牛保留奨励事業を継続し、さらに受精卵活用優良繁殖増殖事業と消費拡大を目的に草地下化している町有牧野の肥培管理を行い、良質の粗飼料を生産します。

林業では、国は森林・林業の再生と木材自給率五〇割達成を目標とした「森林・林業基本計画」を策定し、その実現のための諸政策が実施されています。本町においても、森林資源の適切な整備と保全を引き続き図っていく考えです。

緑化事業については、えりも国

林の緑化事業六十年目に当たることから、「二〇二二・森と海のフェスティバル」えりもの植樹祭」を記念事業として六月に行い、また、秋には針葉樹から広葉樹への転換を目的に「えりもイキイキ森林づくり事業」を行います。さらに、中高一貫教育として、生徒に緑化事業の体験を通じて、森林の大切さを学んでいたきたいと考えています。

森林基幹道えりも線については、二十四年度より旧町道の目黒孵化場線を六か年計画で改良しています。が、今後は二十五年度からの二か年で十三間橋を架け替えます。

シカの駆除は有害捕獲を行い、管内各町が連携し、生息数減少に向かつてより一層の努力をします。

◆水産業の振興

本町の主要産業であるコンブ漁業の安定を図るため、昨年に引き続き漁場造成と水産環境整備事業を進め、コンブ資源の生産拡大に努めます。コンブ輸入割当・IQ制度の堅

持につまきましても、道内関係機関と連携し、強く求めていきます。

えりも栽培センターでは、八月下旬よりマツカワ稚魚を本町海域に十一万三千尾を放流し、管内全体では三十五万尾を放流する予定です。

さらに、資源の増大を目的として、ハタハタ・クロソイ・マガレイを種苗生産し、エゾボラやナマコについても、引き続き飼育試験を行い、種苗生産の確立を目指します。

なお、えりも岬漁港の北外防波堤の新設については、船揚場及び用地改良も含め、地域自主戦略交付金事業として単年度での完成を予定しています。

健康でいきいき暮らせるまちづくり

◆高齢者福祉・介護保険

本町の人口に占める六十五歳以上の割合は二十五・五割、七十五歳以上については十三・九割となり、他市町村と比較すると高齢化率は低い状況です。しかし、二年前に比べると一・一割上昇しており、確実に高齢社会が進行しています。

こうした中であって、高齢者の方々の自立と社会参加は、まちづくりの重要な柱であり、老人クラブへの助成をはじめとした高齢者の自主活動の助長を図っていきます。

介護保険は、第五期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の見込みよりも在宅の給付費が伸びており、引き続きサービス利用状況を把握し、介護給付費の適正化に努めます。

また、高齢者の一人暮らし世帯が増加していることから、日常生活の見守りや成年後見人制度の普及・啓発により、支援を行っていきます。

◆障がい者福祉策

障がいのある方が、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会を目指し、第二期障がい者計画及び第三期障がい福祉計画に基づき、サービスの提供や支援の充実に努めます。

また、障がいのある方への支援が総合的かつ計画的に行われることを基本理念とした「障害者総合支援法」が制定されました。これに対応するため、行政の推進体制の整備を進めていきます。

◆保健・医療対策

町民の健康づくり推進のため、各種検診の必要性を周知し、受診率の向上に努めます。

国民健康保険の加入者を対象とした特定健康診査は、二十五年度から第二期特定健診等実施計画がスタートします。生活習慣病の予防のため、今後も積極的な受診勧奨に取り組み、さらに運動教室の開催や保健

指導、栄養指導を強化し、予防事業の推進にも力を注ぎます。

感染症予防では、子宮頸がん、ヒブ、肺炎球菌の三つの予防接種が定期接種となることから、標準接種期間内に接種を終えられるよう適切な指導を行っていきます。

歯科保健事業は、フッ化物洗口を実施する施設への情報提供等の支援を行っていきます。また、北海道大歯学部及び学校歯科医のご協力により実施している歯科検診は、幼児から高校生までを対象として今後も継続していきます。

◆子育て世帯支援策

二十五年度からは、次代を担う子どもの誕生を祝福し、子育て世帯の負担軽減と児童福祉の向上を図るため、町内に住民登録をしている方が出産されたときに祝金を贈呈します。この祝金の一部を「地域商品券」とし、商業の発展にも貢献していきます。

また、乳幼児の通院・入院と小学生の入院の一部を対象としてきた子どもの医療費助成制度は、対象を中学生までの通院・入院に拡大し、助成相当分を出産祝金と同様「地域商品券」で支給します。

◆診療所の運営

三月末で更新期限となる渡邊・高

瀬両医師につきました。二十五年度も本町の医療に携わっていただくこととなりました。今後も内科医・外科医の二名体制で関係機関と連携を図りながら、えりも町の地域医療を推し進めていきます。

診療所の経営は、消費税増税法の影響を受け、さらに厳しい状況に置かれることが予想されますが、町民の命と健康を守ることを主眼に置き、診療体制の充実に努めていきます。また、公衆衛生予防医療を推進し、疾病の早期発見、早期治療など、安心した医療を受けられる環境の整備に努めます。



町民の生命を守る重要な役割を担う診療所

安心安全なまちづくり

◆防災・減災対策

二十五年度は、庶野地区とえりも高校に災害用備蓄食糧・毛布などを整備し、さらに、防災倉庫をえりも岬地区に設置し、大規模停電時の対応としてポータブルストーブを避難所に配置します。

災害情報の伝達では、ドコモエリアメールに加え、au、ソフトバンクの緊急速報メールを導入します。

◆建設土木関係事業

町道の整備事業につきましては、昨年に引き続き「歌別・苦別線舗装工事」など臨時地方道路整備事業を行うとともに、二十五年度より「新浜団地一号线」の改良舗装工事を行います。町単独の土木事業は、地区別町政懇談会などにおける要望を踏まえながら、事業の緊急性と将来的な維持補修等を考慮して、計画的に整備を進めます。

えりも港の整備は、「長期港湾整備計画」に基づき、既存施設の南外防波堤のかさ上げ改良など、港湾機能の拡充を進めます。

また、一般国道三三六号「襟広防災事業」の早期完成をはじめ、越波防止対策の継続と国道の更なる安全の確保、急傾斜地事業、一般海岸保

全事業等の懸案事項につきまして、早期に実施するよう引き続き関係機関に要望します。

◆住環境の整備

公営住宅は、二十二年度策定の「えりも町公営住宅等長寿命化計画」に基づき、二十五年度は大和C団地公営住宅一棟八戸を建て替えし、既設の公営住宅についても修繕工事等により、良質な住宅の提供に努めます。

個人住宅につきましては、二十四年からの「住宅改修等助成補助事業」を継続し、支援していきます。

◆水道事業

安心で安全な水道水を安定供給するため、施設の点検整備、情報管理などに努めるとともに、現有施設を少しでも長く使用するため、でき得る限りの措置を講じます。

二十五年度は、大和地区で配水管移設工事を四百八十軒実施し、新浜、上歌別、庶野地区でも配水管更新工事を行い、さらに、東部浄水場の計装機器を更新します。また、町内全域で検漏メーターの更新工事も継続して実施します。

◆下水道事業

下水道事業は、全体計画面積百五十二・七haのうち、百十三・八haの整備を終えており、平成十四年度の

供用を開始以降、トイレの水洗化、生活排水の浄化及び公共水域の水質保全などに寄与しながら、快適な生活環境の改善を図っています。

下水道の接続状況は、全対象戸数の六十六・八割に当たる八百二十五戸が接続を完了しています。今後も接続の推進を重点課題として、事業効果の拡充を図っていきます。

◆交通安全運動の推進

平成十八年十月から「交通事故死ゼロの日」を継続中しており、昨年三月三十一日に二千日を達成し、今年八月十三日の二千五百日を目指しています。

今後も関係機関・団体等、多くの町民みなさんと一体となって、交通



秋の交通安全運動の旗の波運動

事故死ゼロに向けて交通安全運動の啓発に努めます。

みんなで歩む協働のまちづくり

◆効率的な行財政の運営

二十五年度一般会計予算は四十億六千万円となり、前年度当初と比較して三億一千万円減少の予算編成となりました。特別会計を加えた合計でも六十一億三千万円で対前年比三億七千四百万円の減です。

この要因は、国の二十四年度補正予算に伴い、公営住宅建設事業や東部簡易水道送水管更新事業を前倒しで予算計上したことや診療所のエックス線撮影機器の入れ替えが終了したことによるものです。一方、歳入では地方交付税や臨時財政対策債の減少が見込まれることなどが、その主なものです。

予算編成に当たっては、昨年末に新政権が発足し、その中で地方交付税は大幅な削減が見込まれ、不足分

は緊急防災・減災事業や地域の元気づくり事業で確保したと natte いますが、各地方自治体への配分は、その詳細な算定方法が示されておらず、財政力の弱い団体ほどその影響を大きく受けるものであると考えられます。

また、自主財源に当たる町税の伸びも今年度は大きく望めないことから、各種行政サービスについても再検討を行い、事務事業も見直して経常経費を抑制し、地方債の発行も現在の上限を超えることなく極力抑えるなど、財政基盤の確立を図り、効率的な行財政運営に努めます。

これまでにない厳しい財政環境のもとで、山積する課題に取り組みなければなりません。町民みなさんが自らの暮らしに明確な見通しや希望を持って生活できることが重要と考えますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

教育行政執行方針

学校教育の推進

◆学校教育推進の基本姿勢

学校教育は、いつの時代でも「知・

徳・体の調和の取れた教育」を推進し、また、「教育の不易と流行」をしつかりと見据えて、その時々々の教育課題に取り組むことが重要です。

これらのことを常に念頭に置き、さらに中高一貫教育に係る連携と、

小・中・高の接続を重視し、「えりも
の教育」の充実・発展に結び付くよ
う学校教育の推進に努めます。

◆小・中学校教育

子どもたちには、基礎的・基本的
な知識及び技能を習得させ、課題を
解決できる力を育み、主体的に学習
に取り組む態度を育成することが大
切です。そのためには、学校と家庭
双方で校内外の教育活動を推進して
いく必要があります。

本町においては、教育向上対策委
員会が中心となり、各学校で「授業
改善と家庭学習改善」に取り組んで
おり、その成果も表れてきていま
す。二十五年度は、各学校に実効性
のある学校改善プランを策定しても
らい、全国学力・学習状況調査の実
施継続、校内研修等を通して、授業
力の向上を図るとともに、振り返り
学習やノート指導等の組織的・継続
的な取り組みの徹底と、放課後や長期
休業中の学習サポート等、家庭学習
の習慣化を図ります。

また、子どもたちが規範意識や思
いやる心等を育む上で、道徳教育の
充実が大切であり、社会問題となっ
ている「いじめ」については、きめ
細かな児童生徒理解や日々のコミュ
ニケーションを大切にして子どもと
向き合い、早期発見、早期対応を図

ることが重要です。

そこで、二十五年度は、児童生徒
のアンケート調査や教育相談を行う
とともに、学校間の情報交換をする
生徒指導連絡協議会や青少年健全育
成会の活動、児童生徒が主体となる
「いじめ根絶標語」等を通して、町
ぐるみで「いじめのない学校」を目
指します。

さらに、子どもたちが健やかな体
を育むためには、体育指導の充実、
自らが生活・運動習慣を見つめ直す
取り組みや健康を守る環境づくりを
一層充実させる必要があります。

二十五年度は「体力向上プラン」
による一校一実践、新体力テストの
実施とその活用、さらにむし歯予防
のフッ化物洗口を管内に先駆けて全
小学校で実施することなど、健康教
育や安全・安心な学校づくりにも力
を入れていきます。

学校においては、児童生徒一人一
人の教育的ニーズに応じた適切な指
導や支援を行うことが大切であり、
本町においては、就学指導委員会の
定期的な話し合いや他校との交流学
習を進め、個に応じた就学と自立の
ための活動を展開しています。二十
五年度は「個別の教育支援計画・指
導計画」の作成を通して一人一人の
きめ細かな指導を図り、また、えり

も小学校の支援員の配置を継続し、
支援や指導体制の充実、関係機関と
の連携を図っていきます。

◆高等学校教育の充実

えりも高校では、生徒の進路実現
一〇〇％達成を目標に学習指導や進
路指導等を計画的に行っており、二
十四年度の進路状況は、二月中旬で
すでに一〇〇％となっています。

二十五年度は、習熟度に応じた少
人数指導や課外講習、定期考査前補

「議会報告会～議員と語る会」開催のお知らせ

昨年に引き続き、各地区を町議会議員が訪問し、議会の
内容や活動等を報告する「議会報告会」を開催します。

町民みなさんからの意見や要望についてもお伺いし、町
政の発展につなげたいと思っています。

ご来場を心よりお待ちしております。

日	時	場 所	担当班
4/22(月)	18:30～	福祉センター老人室	1
4/23(火)	〃	西えりも生活館	1
〃	〃	近浦多目的集会施設	3
4/24(水)	〃	えりも岬林業総合センター	1
〃	〃	庶野生活館	3
4/25(木)	〃	笛舞ふれあい館	2
〃	〃	目黒生活館	3
4/26(金)	〃	歌別生活館	2
4/27(土)	〃	東洋生活館	2

班	担 当 班
1	石川議運委員長・大坂議員・笹谷議員
2	渡部議長・川村議員・手塚議員
3	成田副議長・上野議員・平野議員・高松議員

習など、一人一人に応じた指導を進
めます。さらに、部活加入七〇％以
上、全道大会進出四部以上など、部
活動の活性化を図り、元気のある学
び舎づくりを進めます。

大韓民国への研修は、二十四年度
で二十二回目となり、「えりも高校
ならではの教育事業」となっていま
す。隣国「韓国」と日本の歴史学習、
同世代の人々や残留日本人との交流
等を実感できる貴重な機会として、

その意義は大きいと考えています。二十五年度についても、その意義の検証などを図りながら実施したいと考えています。

◆中高一貫教育と小中高の接続

中高一貫教育は、二十五年度で十年目の節目の年となります。

現在、中学校と高校でキャリア教育、環境教育、部活動などの取り組みが行われていますが、二十五年度は、教職員の乗り入れ授業や進路連携のキャリア教育など、連携を図る取り組みを一層進めていきます。

また、小・中・高の接続では、授業交流や研究協議などの全道的にも先導的な実践が行われていますが、二十五年度は、小学校の外国語活動と中・高の英語において接続を図る指導改善を一層進めるとともに、英語、漢字、数学検定を二十四年度の成果を踏まえて実施するなど、小・中・高の学びの連続性を重視していきます。

◆信頼される学校づくりの推進

保護者や地域住民との信頼関係の大前提となるのは、学校としての責務を確実に果たすこと、さらには、教職員が模範となる人として子どもたちの前に立つことです。

今後も、勤務・サービスの徹底を図り、学校経営上の積極的な危機管理と、

教職員の資質向上、地域の各種行事等への積極的な参画等、各種会議や学校訪問等を通して指導と助言を継続し、地域から信頼される学校づくりを進めていきます。

社会教育の推進

◆社会教育推進の基本姿勢

町民一人一人が豊かな生活を送るため、生涯を通じて積極的に学び、その成果を生かすことができる環境づくりが求められています。

また、社会教育に役立つ資源を十分に生かし、地域の活性化を担う人づくりを推進することも重要となっています。

このことを踏まえ、事業等の企画、運営に創意工夫を凝らし、リーダー的な地域人材の活用を積極的に進める施策を展開していきます。

◆社会教育活動の充実

本町では、「まちづくり」運動を柱に、高齢者教室をはじめ、学びの広場などが行われています。

二十四年度からスタートした第五次社会教育中期計画を基として、生涯学習推進協議会を中心に、多様な学習機会の提供と推進体制の充実を図っていきます。

また、放課後児童クラブは、登録者数が三十名を超え、働く方々への

支援事業として推進するとともに、青少年健全育成会との連携を深め、児童生徒等の健全育成を図っていきます。

◆芸術文化の振興

多くの芸術文化鑑賞会や文化活動が盛んに行われていますが、今後は、町民が優れた芸術文化に触れ、自らも積極的に参加できる文化活動の環境を整えるとともに、文化団体・サークル活動の支援をしていきます。また、青少年の情操の涵養^{かんよう}を図るため、芸術鑑賞事業を継続し、鑑賞機会の拡充と文化情報の提供に努めます。

◆地域文化の継承

郷土資料館は、地域の歴史・文化を学ぶ教育施設としてその役割は重要です。そのため、地域の学習資源を調査し、資料収集と情報提供を図るとともに、町民から寄贈された郷土資料の有効活用や文化財の保護を進めていきます。

また、国文化財名勝ピリカノカに指定された「襟裳岬」の絵本を作成し、文化財保護の大切さを周知します。町指定文化財「猿留山道」の保全も関係機関と連携して進めていきます。

◆スポーツの振興

各スポーツ関係団体と連携を図

り、各種大会の開催や指導者の養成を図っていきます。また、健康づくりを目的としたスポーツ教室を開催するとともに、スポーツ情報の提供と指導体制の整備を図り、施設運営に当たります。

事務局業務の推進

◆教育環境について

学校施設の適正な維持管理を進めるとともに、校舎や施設の改善に努めていきます。

教職員住宅については、引き続き、住環境の整備を計画的に進めていき、社会教育施設については、拠点施設である福祉センターや温水プール等の老朽化が著しいため、関係部局と協議し、今後の施設の在り方も含め検討していきます。

◆防災教育の推進

東日本大震災を受けて、学校での防災対策や児童生徒に対する防災教育の必要性を実感しています。学校における防災体制を地域とともに見直し、防災学習の実施など、防災教育の充実を図ります。



交通事故死ゼロの継続を

交通安全住民大会



交通安全功労者として、光の園幼稚園を表彰



新成人代表で角地舞美さんが大会宣言

三月六日「第四十三回えりも町交通安全住民大会」を福祉センターで行いました。
この大会は、交通事故のないえりも町を目指して毎年開かれているもので、百五十人が参加し、交通事故撲滅への思いを新たにしました。

交通安全作文コンクール特選に輝いた
洪田さん、金澤さん、坪さん（左から）



各種表彰受賞者

●えりも町交通安全功労者表彰

- 本町支部
学校法人北海道キリスト教学園
光の園幼稚園

●えりも町地区別交通安全無事故実践大会表彰

- 1位 えりも岬地区
- 2位 庶野地区
- 3位 本町地区

●交通安全作文コンクール

《小学生の部》

- 特選
坪 朝陽さん（えりも小6年）
- 入選
北村穂乃佳さん（えりも小6年）
佐藤 詩音さん（えりも岬小6年）
藤井 奈都さん（えりも小6年）

《中学生の部》

- 特選
洪田 勇司さん（えりも中2年）
- 入選
池田 翔太さん（えりも中2年）

《高校生の部》

- 特選
金澤 奈緒さん（えりも高3年）
- 入選
鎌田 希さん（えりも高3年）
横濱滉太郎さん（えりも高3年）

大会は、交通事故犠牲者への黙とうから始まり、続いて挨拶をした町交通安全運動推進委員会長の岩本町長は、目標とする交通事故死ゼロの日二千五百日達成について触れ、「この大会を契機に町民一丸となって取り組んでいきたい」と決意を述べました。
今年の交通安全功労者表彰には、学校法人北海道キリスト教学園光の園幼稚園が、昭和四十九年のこぐまクラブ結成以来、今日まで園児や保護者に交通マナーを実践していることなどの功績により選ばれ、地区別

の無事故を競う交通安全無事故実践大会は、えりも岬地区が一位となりました。
小・中学校、高校の児童生徒による交通安全作文コンクールは、坪朝陽さん（えりも小6年）、洪田勇司さん（えりも中2年）、金澤奈緒さん（えりも高3年）が特選に輝き、会場でその作文を発表しました。
また、交通安全講話では、北海道大学落語研究会のメンバー二人が、交通安全落語を披露し、会場は笑いに包まれました。
大会は最後に、新成人を代表して角地舞美さんが壇

上に立ち、交通事故根絶に向けた大会宣言を読み上げ、終了しました。

年額500円で3万円からの見舞金

交通災害共済

お申込みは、各自治会の班長さんに取りまとめの協力をいただいています。

直接申込みをする場合は、役場町民生活課（☎2-4621）までお越しください。



中野さん(左)と吉田さん(右)に感謝状

人命救助に感謝状

町は、一月に発生した刺し網漁船転覆事故における人命救助に対して、有限会社吉田水産と有限会社丸義盛運水産に感謝状を贈りました。

事故当時、救助要請を受信した吉田水産の第八十一平安丸は、直ちに漁協と僚船に連絡。丸義盛運水産の第十八盛運丸が現場で救助作業に当たりました。

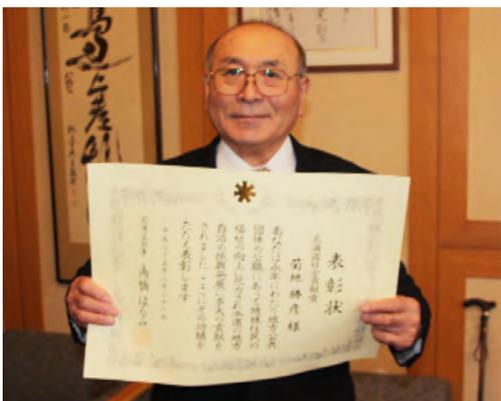
贈呈式は、二月二十八日に行われ、吉田正憲さんと中野義浩さんに、岩本町長から感謝状が贈られました。

長年の功績を称えて

平成二十四年度の北海道社会貢献賞（自治功労者）に、元町議会議員の菊地勝彦さんが選ばれ、三月七日に役場庁舎で伝達式が行われました。

この賞は、地方自治の振興と発展に貢献された方に贈られ、議長も務めた二十四年間の議員活動の功績が認められたものです。

この日、日高振興局の竹縄維章地域振興部長から賞状と記念品を受け取った菊地さんは、「このような賞をいただきました。光栄です」と話していました。



道社会貢献賞を受賞した菊地さん



車いすを贈るえりも小児童会

プルタブで車イス

三月四日、えりも小学校（坂本直司校長）の児童会が、町社会福祉協議会へ車イス一台を贈りました。

同校児童会では、空き缶のプルタブ回収運動を行っており、寄贈した車イスも数年かかって二百八十八万四千個のプルタブを集めたものです。

中野桃子児童会長から車イスを受け取った同協議会の大高耕二会長は「車イスは体の不自由な人のために必要なので、本当にうれしいです」と感謝していました。



浦河警察署と協力を誓いました。

暴力団排除へ向けて

えりも町は昨年十二月、町民の安全で平穏な生活を確保し、地域経済の健全な発展を目的に「暴力団の排除の推進に関する条例」を制定しましたが、この条例をより実効性のあるものにするため、浦河警察署との間で「暴力団排除措置及び支援に関する合意書」を取り交わしました。

二月二十二日に行われた調印式では、岩本町長と丸山昭浦河警察署長がそれぞれの合意書に署名・調印し、今後の協力を誓いました。

襟裳岬をより深く学ぶ

ピリカノカ襟裳岬の学習会

二月二十四日、国指定文化財名勝ピリカノカに指定された襟裳岬の第三回学習会が、福祉センターで開かれました。

襟裳岬をアイヌ民族の視点から学び、地域活性化につなげようというもので、約四十人が参加し、アイヌの料理体験や古式舞踊をアイヌ協会えりも支部の指導のもと体験しました。



卒業証書を受け取る卒業生

新たな門出

えりも高校卒業式

えりも高校の第二十四回卒業式が三月一日に開かれ、四十二名の生徒が卒業証書を手にし、思い出の学び舎をあとにしました。

卒業生を代表して答辞を述べた根井綾也さんは、友人、在校生、保護者、学校関係者に感謝の言葉を贈り、「えりも高校生であったことを誇りに思います」と締めくくりました。



アイヌの古式舞踊を体験

むし歯の撲滅を目指して

フッ化物洗口を試行実施

三月四日のえりも小学校を皮切りに、笛舞小と東洋小の三校でフッ化物洗口の試行が実施されました。

フッ化物洗口とは、低濃度のフッ化物水溶液で口内をすすぎ、歯の再石灰化を促すもので、むし歯予防に高い効果があるものです。

町教育委員会では、二十五年度から町内の全小学校で実施予定です。



試合は王子イーグルスが勝利

迫力ある試合に熱中

アイスホッケー観戦ツアー

毎年恒例の町体育協会主催のプロスポーツ観戦ツアーは、二月二十四日に苫小牧市で行われたアイスホッケー「王子イーグルス対チャイナドラゴン」を観戦しました。

スピード感と迫力のある試合が目の前で展開され、ツアー参加者十七人も感嘆の声を上げていました。試合は、地元王子イーグルスが勝利しました。



フッ化物洗口の説明をうけるえりも小の児童

町スポーツ少年団 体力テスト・交流会



懸命に上体起こしをする子どもたち

町スポーツ少年団体力テスト・交流会が、2月23日に町民体育館で行われ、町内のスポーツ少年団員83名が腕立て伏せなど4種目を行い、日頃の活動の成果を試しました。

交流会では、「コーディネーショントレーニング」を体験しました。

英会話教室



ハエタタキゲームが好評でした。

町民生涯学習講座まなびの広場「英会話教室」を、3月15日から3回にわたって福祉センターで開きました。

小学生と成人の2部門に分かれて行い、16名が参加しました。小学生の部では、単語の書いた紙をハエたたきでたたくゲームが盛り上がりました。

新しい本

図書室だより

《一般書》

- いつか陽のあたる場所で／乃南アサ
- 〈図解〉池上彰の政治のニュースが面白いほどわかる本／池上彰
- アメリカは日本経済の復活を知っている／浜田宏一
- 昆布と日本人／奥井隆
- 残り全部バケーション／伊坂幸太郎
- キミトピア／舞城王太郎

- 誰も知らない動物の見かた動物行動学入門／今泉忠明
 - 10歳からの英語お母さんの出番です／川崎美恵
- 《児童書》
- 現代用語の基礎知識学習版／現代用語検定協会監修
 - いたずら人形チョロップと名犬シロ／たかどのほうこ

- レンタルロボット／滝井幸代
- かさこそ森の気どりやキツネ／有島なさ
- がんこちゃんはアイドル／末吉暁子
- もりのおくのおちゃかいへ／みやこしあきこ
- 大魔法のすてきな呪文／藤真知子

《おすすめ本》



きみはいい子

中脇初枝 著

夕方五時までは家に帰らせてもらえないこども。娘に手を上げてしまう母親。求めていた、たったひとつのもの。それぞれの家にそれぞれの事情がある。それでもみんなこの町で、いろんなものを抱えて生きている。心を揺さぶる感動作。

子育てテレホンサービス ☎2-3715

- 4/ 1～ 4/ 8 「我慢する心」の育て方
- 4/ 9～ 4/15 「思いやりの心」について考える
- 4/16～ 4/22 「感動する心」について
- 4/23～ 4/30 しつけは「し」の付く年齢までに

音声テープによるサービスです。電話をかけると音声の流れ、各内容についてのアドバイスを聞くものです。
※会話はできません。

高齢者教室のお知らせ

えりも町高齢者教室は、町内10地区の老人クラブの定例会に合わせて開講している高齢者のための学級です。参加対象者は、おおむね60歳以上の方としていますが、50代の方も意欲的に参加しています。

毎月、さまざまな学習が行われていますが、今回は役場保健福祉課と教育委員会が、札幌医科大学公衆衛生学講座の「えりも町民の生活習慣と健康長寿に関する調査研究」の協力事業として実施した「えりも町高齢者らしく運動教室」について紹介します。



「高齢者らしくらく運動教室」の様子

この運動教室は、ストレッチ体操や筋力維持体操を行い、高齢者の健康増進を図ることを目的としているもので、理学療法士の木原由里子先生の指導のもと、「セラバンド」を使ったストレッチ体操や足踏みをしながら食べ物の名前などを発声する頭の体操など、楽しみながらたくさんの汗をかきました。

高齢者教室では、毎月の定例会のほかに、今回のような事業も行っています。

興味のある方はぜひ、ご参加ください。



歓声が沸き起こっていた各試合

町民ミニバレーボール大会



ネット際の攻防もミニバレーボールの醍醐味



奨励賞を受賞した高校女子バレーボール部

3月3日、町民ミニバレーボール大会が町民体育館で開催され、14チーム80名が参加しました。

開会式では、昨年の全日本バレーボール高等学校選手権大会北海道選代表決定戦でベスト8を果たしたえりも高校女子バレー部へ、スポーツ奨励賞が贈られました。

大会は、青年男子（30歳以下）、一般男子（31歳以上）、女子、男女混合の4種別・地区ごとにチームを編成し、リーグ戦で競いました。

参加者は、冬場の運動不足解消と体を動かす喜びを感じながら、試合に挑んでいました。

結果は次のとおりです。

成年男子の部：庶野チーム／一般男子の部：銀聖（本町A）チーム／女子の部：ピンポンパン（本町B）チーム／男女混合の部：庶野・目黒混合チーム

町民フットサル大会

町サッカー協会主催の町民フットサル大会が3月17日、町民体育館で開催され、町内外から14チーム110名が参加しました。

フットサルは、1チーム5人の室内で行われるサッカーで、素早いパス回しや華麗なボールさばきから相手をおどかし、強烈なシュートが決まるとギャラリーから大きな歓声が沸きあがっていました。

大会は、日高信金Bチームが優勝しました。

こんにちは保健師です

がんは「他人事」と思っているあなたへ

えりも町民の死亡原因の第一位はがんで、全体の三割を占めます。そして、ここ数年、六十四歳以下の若い年齢の方で、がんで亡くなる方が増えています。

昨年十二月、お笑い芸人で俳優としても活躍している宮迫博之さん（四十二歳）が、毎年受けている検診で胃がんが発見されたことを告白しました。胃がんの大きさは二センチで、一般的な「がん」を連想されるような症状はなかったと報道されています。

十二月初めに腹腔鏡下手術（お腹に四く五か所穴を開けて胃を切除）をし、約二週間で退院。年末にはテレビ番組に出演していました。

多くのがんの場合、早期がんは二センチまでを指します。一つの細胞が一センチのがんになるまでは約十五年かかりますが、一センチ

なつたがんが二センチになるには、わずか一〜二年です。

つまり、検診を毎年受けていれば、早期に発見することができるといふことです。

早期がんであれば、九割近く完治するようになりました。しかし、多くの方が「症状がない」「忙しい」といった理由で、検診を受けていません。

早期にがんを発見するのは、検診の役目。大切な命をがんから守りましょう。

がん検診無料クーポン券の対象になっている方は、ご夫婦、ご友人で誘い合つて、どうぞ、この機会に検診を受けてください。

検診の日程、お申込みなど詳しくは、今月の広報折込チラシをご覧ください。



4月の保健メモ

(連絡先 役場保健福祉課 保健予防係 ☎ 2-4630)

行 事	実施日	時 間	会 場
麻しん風しん混合予防接種	2日(火)、16日(火)	15:30~16:00	町立診療所 (要予約)
乳幼児健診	9日(火)	8:50~11:00	保健センター (個別通知)
日赤巡回診療	10日(水)、24日(水)	13:30~14:30	保健センター (要予約)
肝がん検診	13日(土)	8:00~12:00	要予約 (※1)
三種混合予防接種	16日(火)	13:30~13:40	保健センター
B C G 予防接種		13:40~13:50	保健センター
四種混合予防接種		13:50~14:00	保健センター
ヒブワクチン予防接種		14:00~14:10	保健センター
小児用肺炎球菌ワクチン予防接種		14:10~14:20	保健センター
不活化ポリオ予防接種		14:20~14:30	保健センター
特定健診・がん検診 (※2)	16日(火)	6:00~7:45	庶野生活館 (要予約)
		8:30~8:45	目黒生活館 (要予約)
	17日(水)	6:00~7:45	えりも岬林業総合センター (要予約)
	18日(木)	6:00~9:15	保健センター (要予約)
	19日(金)	6:00~8:15	保健センター (要予約)
二種混合予防接種	25日(木)	14:00~16:00	庶野診療所 (要予約)

●庶野診療所 (☎4-2219)

三種混合・B C G・麻しん風しん混合・ヒブ・小児用肺炎球菌、不活化ポリオ、四種混合の個別予防接種

- ①実施日……毎週月・木曜 (2日前まで予約)
- ②時 間……14:00~16:00

●浦河日赤病院 (☎0146-22-5111)

ヒブ・小児用肺炎球菌の予防接種
小児科外来にお申し込みください。

※1 肝がん検診の予約先は、肝がん検診団事務局へ直接お申し込みください。
受付: 火曜日~金曜日 ☎011-350-1008

※2 特定健診・がん検診は、予約を満たしていない時間帯があります。
ご希望の方は検診前日までお申込みできますので、お問い合わせください。



住吉神社の手水鉢

住吉神社
境内には、江戸時代に建立された石灯籠や手水鉢が数多く残っているのをご存知でしょうか？

頭が、本州で手水鉢を発売し、二月の改号される前に納品されたとは考えられないでしょうか？一つの碑文から、いろいろと想像してみるのも面白いものです。

神社本殿に近い狛犬も江戸時代のもので。台座には「世話人 出雲國 鷺港 運丸栄 熊谷常蔵 山本八右工門」とあります。町広報の先月号で紹介した石碑の碑文にも同じ名がありました。みなさん、つながりを思い描いてみましょう。

階段を上がり、鳥居をくぐると、すぐ左手に二つの手水鉢があります。手水鉢は、神社に参詣する際、両手と口を清めるものです。左手の手水鉢は花崗岩で、高さが八十センチと大きく、江戸時代の文久四年（一八六四）に奉納されたもので、「奉納 願主 福順丸 又助 文久四子二月」とあります。文久四年二月二十日に改号され元治元年になりました。江戸時代、本州と蝦夷地を結んでいた海運「北前船」は冬期間には航行されていなかったため、船主か船



江戸時代から使われている歴史ある手水鉢

防災情報版 30

海から発する地震津波速報

東

北地方太平洋沖地震から二年が経過しました。この地震は東北地方と北海道がのるオホーツクプレートと、その下に沈み込む太平洋プレートとが衝突して起こるプレート境界型地震と呼ばれるもので、解放されたエネルギーは五百〜千年近く溜め続けられたものと推測されています。今回のプレート間のすべりによって引き起こされた津波は10mを超す巨大なものとなり、一万五千人を超える尊い命を奪いました。こうした津波から人命を守るためには、津波の高さや到達時刻をより正確に推定し、即時に情報を出す必要があります。その有効な手立てとして、海底ケーブル式地震計・津波計や沖合GPS波浪計の整備・拡充が進められています。

まず、今回の巨大津波の発生メカニズムの真相解明に大変有効だったツールが海底ケーブル式津波計でした。これは海底で感知する水圧の変化から海面の高さ変化を計算し、陸上の研究所にリアルタイムでデータを送信し続けています。ケーブル観測点のある水深千〜三千mでは、例えば二〇〇三年十勝沖地震の場合は10cm足らずの海面高の変化が観測されましたが、今回は5mに達しました。津波は水深が浅くなるにつれて高くなりますから（十勝沖地震の場合

は、白糠沖にある水深二千mの海底ケーブル観測点上で10cmだった波高が海岸で数mに）、海底ケーブルで観測された時点で恐ろしく巨大な津波が近づいていることがわかっていました。さらに、GPS波浪計も同様に、津波が陸に達する十五分前から海面高の異常を観測していたことから、こうした情報をもつてすればより長い避難時間を確保することに繋がります。残念なことに、気象庁の当時の津波警報はこれらのデータを採用できませんでした。

気象庁では予想津波波高のクラス分けを見直し、平成二十五年三月七日から新しい基準の津波警報の運用を開始しました。今後、海底と海上において整備された観測網から地震動、海面変動のデータがリアルタイムで気象庁に送られるようになると、揺れや津波が到達するまでの時間、津波の高さを格段に高い精度で推定できるようになります。私たち住民は、いままでとは比べものにならないほどの確かな緊急地震速報、津波警報を受け取ることができるようになるでしょう。



東 龍介

東北大学災害科学国際研究所・特任助教、博士（理学）。千歳市出身。東北大学在学中に2010年チリ地震津波に伴う高台避難を経験し、災害時の情報発信のあり方に疑問を持つ。北海道大学地震火山研究観測センター研究員を経て2013年4月より現職。専門は海底地震学。研究テーマはプレート境界型巨大地震の発生メカニズムの解明。

お知らせ



全国健康保険協会からののお知らせ

全国健康保険協会（協会けんぽ）北海道支部の平成二十五年度保険料率は十・一二％に据え置きになりました。

今後も保険料率を上げないためには、一人一人の健康管理・健康づくりが大切です。協会けんぽでは、被保険者（本人）には、生活習慣病予防検診、被扶養者には特定健診を用意していますので、ぜひご利用ください。

●問い合わせ先

全国健康保険協会北海道支部

☎〇一一・七二六・〇三五二

HTLV-1抗体検査

浦河保健所では、HTLV-1抗

体検査を実施しています。

ご希望の方は、電話でお申込みください。

●検査内容

5mlの血液を採血し、HTLV-1抗体の有無を調べます。

●申込み・問い合わせ

浦河保健所 子ども保健推進課(☎〇一四六・二二・三〇七二)

●受付時間

月曜日～金曜日

九時～十二時／十三時～十七時

※相談にも応じています。

自転車には防犯登録を

雪解けを迎える四月頃から、自転車を利用する機会も増え、盗難被害も増加する傾向があります。

○自転車には、U字型やワイヤー型等の丈夫な鍵を付けるなど「ツーロック」にして、大切な自転車を盗難被害から守りましょう。

○万が一被害にあった場合のために自転車の防犯登録をしましょう。

防犯登録は、自転車の販売店で取り扱っています。防犯登録をしておく、登録番号や車体番号から持ち主がわかるので、盗難に

HTLV-1抗体検査

予約受付期限 (各日12時まで)	検査日時 (13:30～15:30)
4月 8日	4月10日
5月13日	5月15日
6月 3日	6月 5日
7月 1日	7月 3日
8月 5日	8月 7日
9月 2日	9月 4日
9月30日	10月 2日
11月 1日	11月 6日
12月 2日	12月 4日
1月10日	1月15日
2月 3日	2月 5日
3月 3日	3月 5日

あつたときでも早期に被害回復の可能性が高くなります。

●問い合わせ先

浦河警察署

☎〇一四六・二二・〇一一〇

火入れを行う前に…

これからの季節は、枯れ草や枯れ枝の火入れを行う機会が多くなると思います。火入れの際は事前に消防署へ連絡をし、許可を得てから行ってください。(※火入れの煙を火事と間違え、消防署に通報が来る場合があります。)

また、ごみ(家庭用ごみ等)の野外焼却は、煙や悪臭により周囲の住人に迷惑をかけるだけでなく、ダイオキシン類の有害物質等による健康



くまざわ
熊澤ひなたちゃん
(大吾・香織)
H24.4.14生(大和)

歌と食べることが、大好きな女の子です。1歳おめでとう☆



くにもとあやか
国本彩楓ちゃん
(直樹・さなえ)
H24.4.12生(本町)

お手でキラキラ大得意。パパとママの宝物。元気に育ってね。



みくにりあら
三國莉愛来ちゃん
(元大・里恵)
H24.4.11生(本町)

我が家の元気いっばいのやんちゃ娘です!!



ささきはる
佐々木晴琉ちゃん
(陵・尚子)
H24.4.1生(歌別)

パパゆずりのタレ目笑顔でいつもみんなを癒してくれます。

あつまれ！一歳児



すくのび

「すくのび」は、「すくすく」のびのび育っての願いを込めたタイトルです。

弁護士相談センター無料相談 (事前予約制)

会場	日程	時間
えりも相談所 (保健センター)	4月16日	13:15 ~ 15:45
様似相談所	5月14日	
浦河相談所	5月7日	
静内相談所	4月10日・15日・17日・22日・ 24日、5月1日・8日	13:30 ~ 16:30
予約受付	月曜日～金曜日 / 10:00～16:00 ☎0146-42-8373	

♡**ご寄付**

次の方々からご寄付がありました。
この場を借りてお礼申し上げます。

- 小助川弘美さん(福岡県) 十万円
- 山本昌利さん(愛知県) 三万円
- 北田久子さん(札幌市) 一万円
- 田中忍さん(神奈川県) 五万円

被害の原因にもなりますので、やめるようにしましょう。
互いに生活のルールを守り、快適な環境づくりを心がけましょう。

●**問い合わせ先**
消防えりも支署 ☎二・二〇三八

♡**ご厚志に感謝します**

○鈴木陽子さん(兵庫県) 五万円
○山崎孝行さん(札幌市) 三万円
○佐々木泉顕さん(札幌市) 二十万円
○小林強さん(浦河町) 一万円

○えりも町商工会女性部
交通安全運動推進委員会へ
新入学児童交通安全の鈴
老人クラブ連合会女性部会
やまと苑へ タオル、ウエス等
ンボール四十箱分
淡路静子さん(歌別)

歌別老人クラブへ 三万円
○工藤博則さん(目黒) スリッパ六十足
目黒生活館
○松本與久さん(目黒) 三万円
目黒老人クラブへ 二万円
目黒自治会へ 二万円
○石井真貴子さん(本町) 二万円
住吉自治会へ
○創価学会えりも支部青年部
やまと苑へ
フェイスタオル等四百五十五枚
○山田マリ子さん(笛舞) 五万円
笛舞自治会へ
★社協のボランティアセンターへ
山田マリ子さん(笛舞) 三万円



(えりも吟社)

縫い合わす端切れいろいろ春隣り 佐々木蓉子
凍滝の裏一筋の水走る 佐々木凌子
膝にのる冬日のまろく坐してをり 鈴木 周子
寒の月心ゆくまで和み居り 曾田つゆ子
日高嶺の裏まで晴れて寒岬 長岡 青風
本流のまだ太くなる雪解川 小山内崇峰

五月二十六日投・開票

**えりも町長選挙
町議会議員補欠選挙
のお知らせ**



先月号の広報において、任期満了(平成二十五年五月三十一日)によるえりも町長選挙の日程をお知らせしていましたが、町議会議員に欠員が生じたため、町長選挙と同時に町議会議員の補欠選挙を実施いたします。
なお、現時点における議員の不足数は一名となっております。

立候補予定者説明会

- ・開催日 四月二十五日(木)
- ・時間 町長選挙立候補予定者 午後二時
町議会議員補欠選挙立候補予定者 午後四時
- ・場所 役場二階集団指導室
- ・内容 立候補届出の手続き、選挙運動等について
- ・問い合わせ先
えりも町選挙管理委員会

☎二・二一一二

人のうとぎ

(平成25年2月28日現在)

近浦	177人	67世帯
笛舞	294人	118世帯
大和	1,000人	433世帯
本町	907人	397世帯
新浜	709人	309世帯
歌別	358人	133世帯
東洋	401人	132世帯
えりも岬	561人	212世帯
庶野	717人	274世帯
目黒	163人	77世帯
合計	5,287人	2,152世帯
(男 2,641人 女 2,646人)		
転入	7人	転出 5人
出生	4人	死亡 5人

税のおしらせ

土地・家屋の評価額のご確認を
固定資産税の縦覧制度
～5月31日まで

固定資産税の納税者が所有する土地や家屋の評価額を他の方と比較できる「固定資産税の縦覧制度」を実施しています。

この機会にぜひご利用ください。

税務課課税係 ☎2-4620

町立診療所・庶野診療所の診療表

●受付時間・電話番号

町立診療所(☎2-2265)

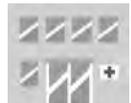
8時30分～11時30分

13時00分～16時30分

庶野診療所(☎4-2219)

9時00分～11時30分

14時00分～16時30分



	月	火	水	木	金
	4/1	4/2	4/3	4/4	4/5
町立 内科	○	検査日	○	○	午前のみ
町立 外科	○	○	午前のみ	午前のみ	○
庶野診	○	○	○	○	○
	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12
町立 内科	○	検査日	○	○	午前のみ
町立 外科	○	○(②参照)	午前のみ	午前のみ(代診)	○(代診)
庶野診	○	○	○	○	○
	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19
町立 内科	○	検査日	○	○	午前のみ
町立 外科	○(②参照)	○(②参照)	午前のみ	午前のみ	○(②参照)
庶野診	○	13～15時医師不在	○	○	○
	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26
町立 内科	○	検査日	○	○	午前のみ
町立 外科	○(②参照)	○	午前のみ	午前のみ	○(②参照)
庶野診	○	○	○	○	○
	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3
町立 内科	休診	検査日	○	○	休診
町立 外科		○	午前のみ	午前のみ	
庶野診		○	午前のみ	午前のみ	
	5/6	5/7	5/8	5/9	5/10
町立 内科	休診	検査日	○	○	午前のみ
町立 外科		○	午前のみ	午前のみ	○
庶野診		15時～診療	○	○	○

○印は午前・午後とも診察

町立
診療所

- ①4/11～4/12の外科は、医師学会出席のため、代替医師となります。
- ②次の日は、学校健診のため、外科の午後からの診察は15時30分からとなります。(4/9・4/15・4/16・4/19・4/22・4/26)

庶野
診療所

- ③4/16は13時～15時まで医師不在となります。(時間が前後する場合があります)
- ④5/2は午後から休診です。
- ⑤5/7は15時から診療が始まります。

都合により、診療表が急遽変更となる場合もあります。ご了承ください。

4月の行事

29日	28日	27日	20日	17日	8日	6日	5日	4日
スポーツ公園オープン(9時～)	温水プールオープン(10時～)	えりも「うに祭り」(スポーツ公園/10時～)	百人浜パークゴルフ場オープン(9時～)	運動免許更新講習(福祉センター/優良13時～13時30分・一般14時～15時)	えりも岬小学校・笛舞小学校・庶野小学校・えりも小学校・えりも高校入学式(各校体育館/えりも岬小・笛舞小10時～/庶野小10時30分～/えりも小11時～/えりも高13時30分～)	えりも中学校入学式(同校体育館/9時～)	中央保育所入所式(9時30分～)	庶野保育所入所式・えりも岬保育所入所式(庶野保育所9時30分～/えりも岬保育所10時30分～)

北海道・えりも町企画課 住所：北海道幌泉郡えりも町字本町206番地 電話：01466-2-2111

Eメール：erimo@sage.ocn.ne.jp FAX：01466-2-4633 発行日：平成25年4月2日